# 波原（ぱはら）便り

県立辺土名高等学校
令和５年７月３日(月)
発行者 校長　桃原健次
**第6号**

7 月 3 日（月）朝：全体集会　校長講話「学ぶことについて」

今日は「学ぶ」という言葉についてお話しします。「学ぶ」という言葉は、「まねび」という言葉が語源です。「まねる→まねび→まなぶ」と変化してきています。なかなか、勉強が上手くいかない、部活動で思った動きができない。 ならば、上手な人の勉強の仕方、プレーの仕方を「**まね**」してみることも大切な方法の 1 つです。人間は、最初っから「自分なりの型」があるわけじゃない。 自分から見て、すごいなぁ~と思える仲間の「まね」をしているうちに、オリジナリティーが生まれるものだと考えています。また、「まね」をしているうちに、自分らしい形が生まれ、それが「自信」となる。

ところで、バイオミミクリーという言葉があります。自然の中にある「デザイン」を「まねる」という考え方です。カワセミの口ばしを「新幹線の細長い鼻」へ、表面のトゲによって動物などに付着するオナモミの実を「マジックテープ」に、ハスの葉の仕組みを「レインコート」に、フクロウの独特な風切り羽根を電車の「パンタグラフ」へ、更に、カタツムリの殻の表面には、とてつもなく細かい凹凸があり、油汚れが付いても油と殻の表面の間に水が入り込んで、 油を浮かせてしまう。そんな殻の構造から、汚れにくく掃除のしやすいタイルが生まれた。自然をまねることで素晴らしい技術が生まれています。繰り返しますが、上手な人の「まね」をすることも、スポーツでも、勉強でも大切な「視点」だと思います。今年の目標として、何か 1 つ、他人の良いところをまねてはどうでしょうか！

**生徒の様子**

**2 年総合探究** 6 月 15 日(木)
**インクルーシブ教育講座**

障害を持つ人も、持たない人も共に生きるために、お互いにふれあい知ることで、学び、理解を深めることを目的にしています。今回は特別支援学校の大橋先生による講話を行いました。7／7(金)は桜野特別支援学校(名護市)を訪問し、7 ／10(月)には辺高へご招待、学校を案内・交流し、お互い理解を深める予定です。

**清掃時間**

２の１男子生徒たち、日頃の清掃も頑張っています。今回は、汚れの目立つ物理教室の壁をペンキ塗りキレイにしています。学習環境の整備にも生徒・職員も協力しています。

**学校見学**

6 月 11 日(日)大宜味小学校の総合的な学習の時間の一環で辺高の生きもの博物館などの施設や動物の見学を行っています。

また、6 月 27 日(月)奥間小学校の特別支援学級児童の見学もありました。児童の皆さんは生き生きした表情で動物に触れていました。

※波原便りは辺土名高校のホームページにて過去号も含めご覧になれます。http://www.hentona-h.open.ed.jp/index.html